

# 市内に続々！消防署をかたる不審電話！！



2024.10.26 苫小牧民報

苫小牧市内で今月に入り、消防職員をかたる不審電話が相次いでいる。市が25日時点で把握しているだけで4件。市は特殊詐欺の予兆電話とみて、ホームページで事例を紹介するなどし市民に注意喚起している。

市消防本部によると、不審電話は、消防職員を名乗る男が「地震が起きたときどこに避難しますか？」「病気がかかったときはどのようにしていますか？」「防災についての冊子を配っているので世帯の人数を教えてください」となり、個人情報を出す内容。いずれも高齢者宅の固定電話にかかってきた。

## 消防職員かたる不審電話相次ぐ

### 特殊詐欺の予兆か 市が注意喚起

問い合わせは警察相談専用電話#9110または市防犯協会 電話0144(32)6287。

不審に思った市民が市消防本部に情報を寄せ、被害はなかったが、後日還付金返還などを名目に、現金をだまし取ろうとした可能性もあるという。同本部は「消防本部が電話で個人情報をお願い合わせることはない」と注意を呼び掛ける。

市市民生活課の池淵雅宏主任は「全国的に特殊詐欺被害が増え、若い世代もターゲットではない」と指摘。「行政機関を名乗る人物から不審な電話があったら電話を切り、その機関に連絡してほしい」と訴える。

消防の鈴木です

「避難するときは一人ですか？」

「緊急時に連絡取れる人は？」

「電話機は番号表示できますか？」

10月29日 80代女性

消防署の防災課です

「防災の冊子を配っているので、世帯の人数を教えてください」

10月23日 70代女性

消防署の者です（若い男性）

「病気に罹ったらどうしてます？」

「携帯電話持っていますか？」

10月20日 80代女性

10月～11月中旬

● 消防 ⇒ 13件 以外にも

● 市役所危機管理室 ● 市役所保険(年金)課

● 年金事務所 ● 総務省、警察官・・・ ⇒ 8件

「+18」で始まる電話や自動音声ガイダンスなどでかかってきた例もあり